



准教授

鈴木 敦

スズキ アツシ

大学院工学研究院 機能の創生部門
大学院工学府 機能発現工学専攻 物質とエネルギーの創生工学コース
理工学部 化学・生命系学科 バイオ教育プログラム
atsuzuki@ynu.ac.jp

【研究概要】

マウスを用いて生殖細胞の発生に必須遺伝子を同定し、その機能解析を行っています。

【アドバンテージ】

遺伝子改変技術を用いることによって、その遺伝子を欠いたマウスや、逆に、過剰に存在するマウスの表現型を解析できます。

【事例紹介】

組織特異的に発現する遺伝子の制御領域を利用し、その組織に特異的にGFPなどの蛍光蛋白質を発現させることができます。

■ 相談に応じられるテーマ

遺伝子改変動物の作製
遺伝子改変動物の解析
蛋白質-蛋白質結合の網羅的解析

■ 主な所属学会

発生生物学会
分子生物学会

■ 主な論文

『Nanos2 suppresses meiosis and promotes male germ cell differentiation.』「Genes & Development.」2008/2
『Functional redundancy among Nanos proteins and a distinct roleof Nanos2 during male germ cell development.』「Development.」2007/1
『Nanos2 蛋白質は生殖細胞の雄性化に必要な分子である.Nanos2 は卵と精子の分かれ目に働く蛋白質.』「生物の科学遺伝」2008/9